

独立行政法人
国立病院機構

岩国医療センター

脳神経外科

後期研修のご案内

当科は2019年4月現在は、脳神経外科専門医6名（指導医5名、うち非常勤1名）、レジデント（後期研修医）2名の体制で日々の診療を行っています（資料1）。

1週間のスケジュールは資料2に示すとおりです。

レジデントの先生にはカンファレンス、手術、検査はもとより、週1回の外来と回診を担当してもらっています。当直（救命救急センター）は概ね平日に月3回、週末に1回、またファーストコール当番（当直ではありません）が平日に月4回、週末に2回当たります。当番の時に来られた患者さんは主治医になってもらい、上級医のもとで診断、治療計画、手術方法の検討を行います。主治医として約10人の入院患者さんを受け持ちます。

新入院の患者さんについては、週4回のカンファレンスで主治医がプレゼンテーションを行い、全員でそれぞれの症例についてディスカッションします。

受け持ちとなった患者さんの疾患について勉強し、カンファレンスでしっかりプレゼンテーションが出来れば、レジデントであってもその意見は尊重されます（資料3）。

手術に関しては当科のホームページと資料4・5のごとく、年間約400件行っています。また、その内容は脳神経外科疾患のほとんどをカバーするものとなっています。

レジデントの先生は年間約100件の直達手術に、執刀医もしくは助手として入るようになります（資料6）。レジデントでも習得度に応じて、専門医のサポートのもとで術者として積極的に顕微鏡手術も行ってもらいます。

技術習得に関しては、脳外科専用の手術室が2室あるため、使用していない時には本物の手術用顕微鏡を用いたトレーニングも可能です（資料7）。

またトレーニング環境としては、医局内でもスキルアップ・ラボで実体顕微鏡を使った血管吻合の練習を行えます（資料8）。

また初期研修医および医学生を対象としたハンズオンセミナーも年1回開催しています。その際、当院のレジデントには講師としてお手本を示してもらっています（資料9）。

手術支援機器も充実しており、術中モニタリング、ナビゲーションシステム、神経内視鏡、術中DSAなどの最新機器でほぼフル装備となっています（資料10）。日本神経内視鏡学会技術認定医が2名在籍し、積極的に内視鏡手術にも取り組んでいます。

近年は脳神経外科を志望するレジデントの多くが脳血管内治療にも興味を示しているため、日本脳神経血管内治療学会への加入率が高まっています。当院には学会指導医1名、専門医1名がおり、最新のDSA機器（資料11）を用いて年間約100件の脳血管内手術を行っています。レジデントには診断カテの技術習得の後に、まずはアシスタントからマイクロカテーテル操作に加わってもらっています。

学術活動に対しても積極的に取り組んでいます。豊富な症例をもとにして、学会発表と論文発表を多数行っています（資料12）。

レジデントには、1年間に学会発表3回と論文発表1編以上を目標にがんばってもらっています。ちなみにレジデントが筆頭著者の論文は、2016年から2018年の3年間では英文1編、和文5編でした。

当院での後期研修を希望される方へ

当院は症例数の多さも特徴ですが、脳神経外科専門医を目指すレジデントにとって、専門性の高い分野から救急医療まで、バランスよく知識・技術を習得することができる全国的にも限られた施設の一つと自負しています。

2018年の入院患者数は841人でしたが、症例が集まる理由のひとつとしては、当院が単独で担う医療圏が非常に広大であることがあげられます(資料13)。
この範囲で脳神経外科手術を行っている施設は当院のみであり(小手術は除く)、山口県東部のみでなく広島県西部から島根県南部までカバーしています。

以下に当院ならではの特徴を簡単に紹介します。

① レジデント一人当たりの症例数が多い

大都市の大学や総合病院に多数のレジデントが集中している傾向があるようですが、一人当たりが関わる症例数は単純計算でも(全症例数÷レジデントの人数)となります。

当院は手術件数に関しては年間約400件あり、大学病院を含めた中国四国地方の脳神経外科基幹病院の中でも長年トップクラスの実績があります。仮にレジデントが2名であれば、穿頭洗浄術は年間で30件以上を術者として経験できます。

② モットーは“実践”してもらう

われわれは、後期研修はすでに実践段階と考えています。手術手技は、まずは“見て真似る”ことから始まりますが、ここで終われば実践とは言えません。

当科ではトレーニング環境を充実させたくて、前述のごとく習熟度に応じて積極的に顕微鏡手術の術者もこなしてもらいます。いわゆる“頭の開閉隊”で後期研修を修了とはせず、脳内血腫など“できることからどんどんステップアップ”を目指してもらいます。主治医としての手術には上級医が助手として入り、可能なかぎり完遂してもらいます。

ちなみに過去に在籍してきたレジデントは、2年間で脳動脈瘤クリッピング術も術者として最低でも5件以上はクリップをかけるところまで行い、良好な結果もだしてもらっています。またバイパス手術も、トレーニング後にはレジデントにも実践してもらいます(トレーニングと実際に研修医が行った手術の動画は当科HPの最下段をご参照ください)。

③ 仕事とオフはメリハリをつける (資料14)

オフの時間にレジデントに雑用を押しつけることはしません。専門医もレジデントも、当番でない夜間・休日は基本的に自由な時間としています。

また夏期休暇も過去のレジデントには全員1週間はとってもらっています。

資料1

脳神経外科のスタッフ 8人

2019年4月現在

日本脳神経外科学会専門医 6人

日本脳神経血管内治療学会指導医 1人

日本脳神経血管内治療学会専門医 1人

日本脊髄外科学会認定医 2人

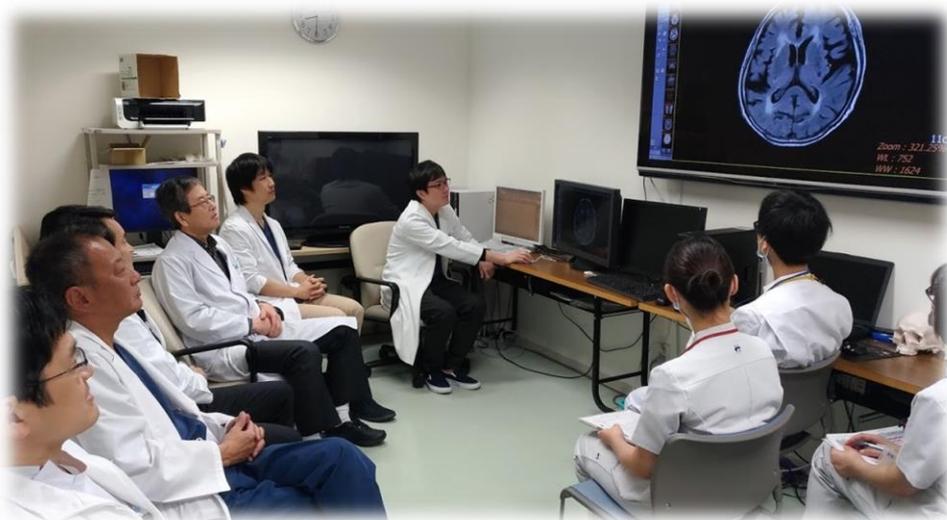
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医 3人

日本神経内視鏡学会技術認定医 2人

資料2

	月	火	水	木	金
7:30		抄読会			
8:00	フィルムカンファレンス				フィルムカンファレンス
9:00	外来3診 回診	予定 外来1診(新患) 回診	外来3診 回診	予定 外来1診(新患) 回診	外来3診 回診
12:00		予定手術		予定手術	
13:00	血管撮影 血管内治療		予定手術 脊髄造影		血管撮影 血管内治療
17:15	病理カンファレンス(1回/月)				総回診

資料3



朝のカンファレンス
受け持ち患者のプレゼンテーションを行うレジデント

資料4

2018年 脳神経外科の診療実績

外来患者数

初診	1552人
再診	5268人
合計	6820人

1日平均 28.1人

入院患者数

新入院	84.1人
1日平均	41.7人

平均在院日数 20.4日

手術件数

直達手術	297件
脳血管内手術	108件
合計	405件

主要手術内訳

脳動脈瘤	61件
脳腫瘍	21件
脳動静脈奇形・瘻	7件
脊椎・脊髄	42件

資料5

手術件数

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
直達手術	363	357	377	359	376	369	320	336	336	314	294	342	297
脳腫瘍摘出術 (TSS)	26	34	35	27	40	40	34	28	28	16	21	24	18 (4)
脳腫瘍生検術	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	6
脳動脈瘤クリッピング術 (未破裂)	60 (28)	51 (19)	51 (20)	52 (21)	45 (17)	48 (18)	37 (12)	32 (14)	39 (21)	32 (15)	21 (11)	20 (3)	23 (8)
脳動静脈奇形摘出術	2	8	2	2	2	2	7	0	2	4	1	2	1
内頸動脈内膜剥離術	19	11	15	18	17	20	12	15	11	14	9	10	8
バイパス術	5	7	5	10	2	4	3	2	2	3	1	0	0
開頭による血腫除去術	17	28	27	21	21	21	13	20	25	17	18	20	8
定位的血腫除去術	9	4	2	2	4	2	0	0	0	1	3	1	0
内視鏡下血腫除去術	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2
外傷性頭蓋内血腫摘出術	10	9	7	12	15	9	6	10	8	13	15	21	17
外減圧術	6	7	9	1	4	1	0	1	2	0	6	8	3
穿頭洗浄術	34	44	69	58	65	67	62	71	69	80	69	89	78
シャント術	24	21	31	31	30	29	36	14	23	14	25	29	22
神経血管減圧術	2	6	3	3	6	5	4	7	13	5	7	3	1
頭蓋形成術	14	9	14	14	15	9	6	10	12	14	8	12	12
脊椎脊髓・末梢神経手術	85	75	71	63	85	76	70	64	50	50	38	45	42
その他	27	43	36	45	25	36	30	61	52	51	52	58	56
血管内手術	40	45	44	62	41	46	48	62	69	90	88	99	108
脳動脈瘤塞栓術 (未破裂)	4 (0)	14 (3)	6 (4)	12 (4)	7 (3)	8 (2)	7 (1)	10 (1)	10 (3)	23 (8)	19 (12)	27 (9)	38 (13)
血行再建術 (急性期)	10	13	22	19	18	15	14	19	28	39	37	35	47 (24)
頭頸部および脊髓腫瘍	7	7	2	4	7	9	8	6	6	10	6	6	3
脳および脊髓動静脈奇形	2	2	0	1	1	3	4	3	6	2	3	6	1
硬膜および各種動静脈瘻	0	1	0	1	2	1	1	3	1	6	3	6	5
その他	10	3	3	8	2	8	13	21	19	9	20	19	14
合計	403	402	421	421	417	415	368	398	405	403	382	441	405

資料6



顕微鏡による手術の様子は、手術室内と医師控え室のモニターで見ることが可能で、全例DVD/ HDに記録しています。

資料7

脳外科専用のセカンドルーム（並列もしくは緊急用）



オペ室の手術用顕微鏡(カールツァイス社製:OPMI Pentero)で血管吻合トレーニングを行うレジデント

資料8



医局ラボの実体顕微鏡で血管吻合の練習

資料9

ハンズオンセミナー（年1回）



資料10 最新の手術支援機器



手術用顕微鏡



ナビゲーションシステム



神経内視鏡

神経モニタリングシステム



オペ室用DSA

資料11



DSA装置(フィリップ社製)

資料12

過去3年間の学術活動

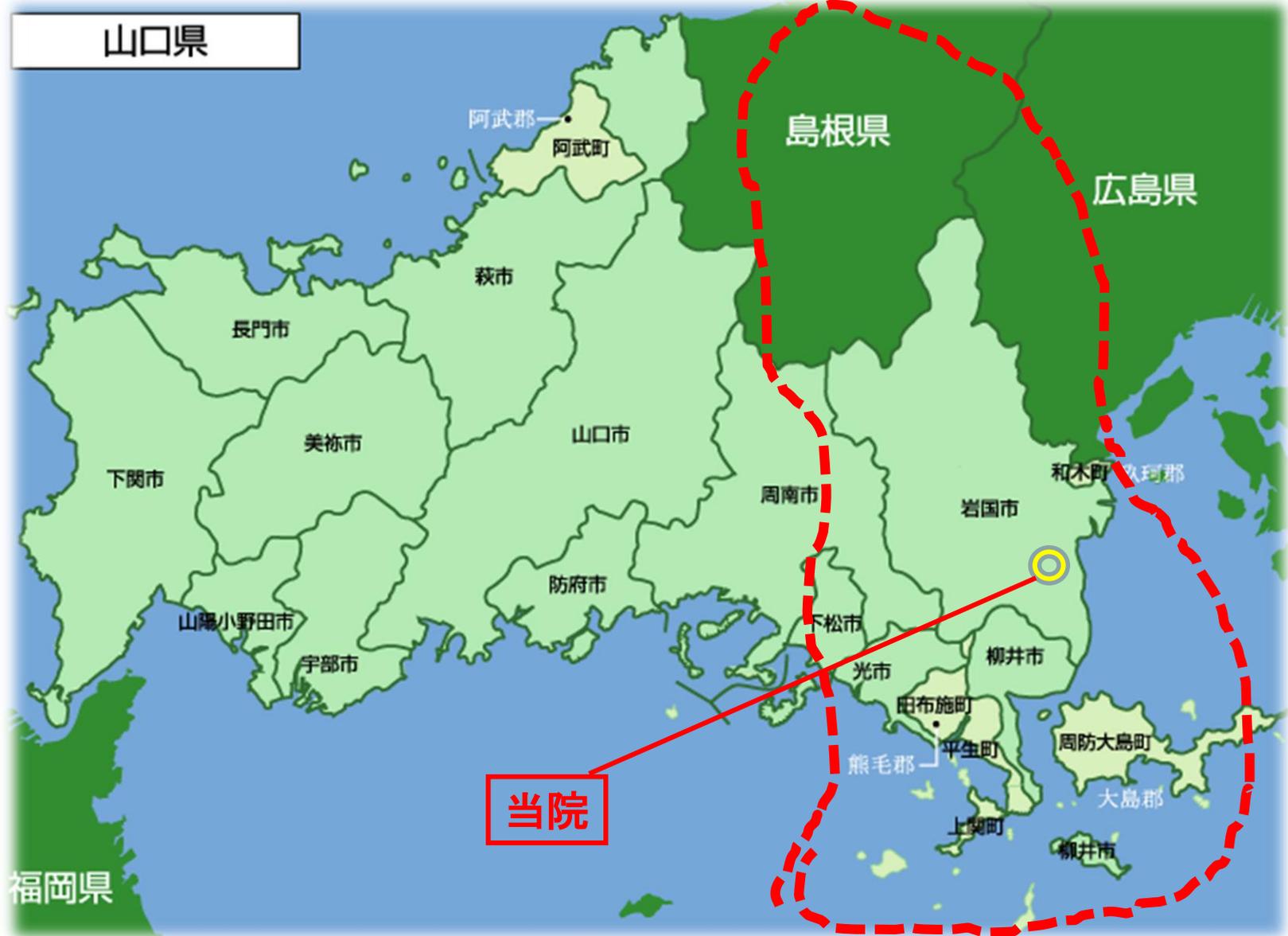
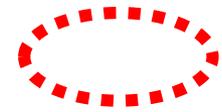
学会発表

- ・全国学会 18題
- ・地方会 17題
- ・講演会 27題

論文

- ・英文 1編
- ・和文 5編

“当院脳外科が単独”で担う医療圏



対象人口:約30万人(米国人 約1万人) 半径:約50km

資料14

岩国錦帯橋空港 ⇨ 那覇
直行便でのバカ・ンス!



フルマソン
完走3回!



自転車レースに参加中。
直後に転倒?



灘スポ少は
県3位獲得!
クラブチーム
なんのその!



イタリア カプリ島
気どっています!



書面ではご紹介できない魅力が、まだまだあるかと自負しています。まずは見学のみでも大歓迎です。気軽に下記のいずれかにご連絡ください。スタッフ一同でご来院をお待ちしています。

[担当医師]

脳神経外科医長

荻原 浩太郎 (オギハラ コウタロウ)

ogihara@iwakuni-nh.go.jp

ogihara.kotaro.fy@mail.hosp.go.jp

脳血管外科医長

日下 昇 (クサカ ノボル)

nob.kusaka@gmail.com

[事務担当者]

庶務班長

竹並 克記 (タケナミ カツノリ)

直通電話 :0827-35-5621

病院代表 :0827-34-1000

病院FAX :0827-35-5600

takenami.katsunori.gq@mail.hosp.go.jp